

# 令和4年度 わたしのアイデアポスト一覧集



市役所1階総合案内に設置している「わたしのアイデアポスト」

弘前市企画部広聴広報課

## も く じ

I 「わたしのアイデアポスト」とは	.....	2
II ポストの設置場所など	.....	2
III 令和4年度に寄せられた提案件数	.....	3
IV 提案に対する回答	.....	4
◆ 文化・スポーツ	.....	4
(文化、芸術、スポーツについてのアイデア)		
◆ 福祉・保健	.....	4
(子育て、青少年、医療、保健、高齢者、障がい者、国民健康保険、 国民年金、介護についてのアイデア)		
◆ 産業・観光	.....	5
(農林業、商工業、観光、物産、雇用についてのアイデア)		
◆ 安全・生活環境	.....	7
(防災、消防、交通安全、防犯、ごみ、環境、消費生活、除排雪につ いてのアイデア)		
◆ 都市基盤	.....	7
(上水道、下水道、道路、交通、河川、住宅、都市計画、景観、公園 についてのアイデア)		
◆ その他	.....	8
(上記に分類されない項目についてのアイデア)		

## I 「わたしのアイデアポスト」とは

「わたしのアイデアポスト」は、市の広聴事業の1つとして、市民の皆さんが気軽に市政に関するアイデアや意見を提案し、市政に参加できるよう設置しています。

この一覧集は、令和4年度に寄せられた提案の内容と回答などについてまとめたもので、これまで寄せられたアイデアと回答の内容を皆さんと共有するとともに、今後アイデアをお寄せいただく際の参考として、各アイデアポストに備えています。

ご提案は、次頁のとおり幅広い年齢の方からいただいております、また、市政の様々な分野に及んでいます。

現在、「わたしのアイデアポスト」は11ヶ所に設置していますが、直接投かんしていただくほか、インターネットやファクス、郵送でも受け付けています。皆さんからのアイデアや意見をお待ちしています。

## II ポストの設置場所など

- ・弘前市役所総合案内
  - ・岩木総合支所 総務課
  - ・相馬総合支所 民生課
  - ・総合行政窓口（ヒロロ3階）
  - ・市民課城東分室（総合学習センター1階）
  - ・東目屋出張所
  - ・船沢出張所
  - ・高杉出張所
  - ・裾野出張所
  - ・新和出張所
  - ・石川出張所
- （合計11箇所）

### ○その他の提案方法

- ・WEB版・わたしのアイデアポスト  
弘前市ホームページ <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/>

- ・ファクスや郵送

「わたしのアイデアポスト」と明記し、住所・氏名・年齢・電話番号を記入して広聴広報課へ。

（送付先）

〒036-8551

弘前市大字上白銀町1-1 弘前市広聴広報課広聴広報係

TEL 0172-35-1194 FAX 0172-35-0080

### Ⅲ 令和4年度に寄せられた提案件数(令和4年4月～令和5年3月)

#### 1. 寄せられた提案件数

##### (1)月別件数

	4年度	3年度
4月	14	15
5月	7	4
6月	3	11
7月	8	7
8月	8	14
9月	4	13
10月	5	6
11月	10	9
12月	7	3
1月	9	8
2月	9	3
3月	12	6
合計	96	99

##### (2)ポスト別件数

	4年度	3年度
市役所庁舎	57	30
総合行政窓口	10	27
市民課城東分室	3	6
岩木庁舎	0	1
相馬庁舎	0	2
東目屋出張所	0	0
船沢出張所	0	0
高杉出張所	1	0
裾野出張所	0	0
新和出張所	0	0
石川出張所	1	0
WEB版	18	26
ファクス	1	0
郵送	4	7
持参	0	0
その他	1	0
合計	96	99

#### 2. 提案内容別件数

##### 関連部別件数(件数順)

	4年度	3年度
企画部	11	16
総務部	6	7
財務部	7	8
市民生活部	14	10
福祉部	9	10
健康こども部	6	16
農林部	1	3
商工部	8	2
観光部	17	11
建設部	14	5
都市整備部	12	9
岩木総合支所	0	1
相馬総合支所	0	0
会計課	0	0
議会	0	0
上下水道部	0	1
教育委員会	5	13
選挙管理委員会	1	2
農業委員会	0	0
上記以外	5	2
合計	116	116

※複数の部に関連する提案があるため、他の合計件数とは一致しません。

#### 3. 投書者に関すること

##### (1)記名の有無

	4年度	3年度
記名あり	50	57
記名なし	46	42
合計	96	99

##### (2)年 齢

	4年度	3年度
10代以下	2	2
20代	1	2
30代	2	6
40代	11	14
50代	6	14
60代	7	7
70代	12	2
80代	3	0
記入なし	52	52
合計	96	99

##### (3)居住地

	4年度	3年度	
市内	45	47	
市外	県内	1	5
	県外	7	2
記入なし	43	45	
合計	96	99	

## IV 提案に対する回答

### ◆文化・スポーツ

#### 1. 冬期間でもスケートボードができる施設を作ってほしい。

<p>提案内容</p>	<p>弘前市に冬期間でもスケボーができる施設を作ってほしいです。冬期間には雪が積もり、スケボーができる施設が1つありません。それによって本来の目的とは異なった場所で滑っているのをよく見かけます。もし冬期間でも滑れる場所があればそのような問題は一気に解決されるはずです。ご検討のほどよろしくお願いいたします。</p>
<p>回答</p>	<p>スケートボードなどの都市型スポーツは、東京2020オリンピックでも注目度は高く、若い世代を中心に人気があるものと認識しております。</p> <p>市では現在、利用者が安心して安全に体育施設を利用いただけるよう、限られた財源の中で老朽化した体育施設の維持管理などの対応や、運動と健康を結び付けたスポーツ振興などについて取り組んでおり、一人でも多くの市民のスポーツや運動をする機会が増えることを目標に掲げております。</p> <p>スケートボードができる施設の整備や維持管理などには多額の費用が見込まれることから、ご提案の内容は慎重に検討する必要がありますが、様々なスポーツに触れる機会が増えることはスポーツ人口の増加にもつながることから、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ振興課】(令和5年1月6日回答)</p>

### ◆福祉・保健

#### 1. 年中使用できる子どもの遊び場を増やしてほしい

<p>提案内容</p>	<p>子育てをしている親として、年中遊べる子どもの遊び場を増やしてほしいと考えています。</p> <p>青森県には「八戸公園子どもの国」や屋内プール、アスレチックパーク、弘前市にも「弥生いこいの広場」や「ヒロロ」などがあるのですが、ネットで情報を検索しても遊具などが充実しており、冷暖房施設がしっかりしていて年中遊べるような施設が出てこない気がします。施設を作るとなると、多額の資金が必要となり、財政を圧迫すると考えて、人々はそういう施設を作るのを敬遠しがちです。閉校になった施設や空き家などを再利用するなどして、子どもと大人が一緒に楽しめる施設を作るか、また市のホームページや広報などで情報発信してほしいと考えています。</p>
<p>回答</p>	<p>様々な施設を活用した遊び場の整備につきましては、子育て環境の整備の観点から、一つの貴重なご意見として、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>子どもの遊び場につきましては、駅前町ヒロロ3階に、概ね3歳から小学生の子どもを対象とした「駅前こどもの広場」を開設しているほか、様々な公園や体育施設などがあり、これらの情報につきましては、市ホームページのほか、市</p>

	<p>が運営する「ひろさき子育て応援アプリ」や外部サイトの「弘前市ぎゅっと!」、「いこーよ」などに掲載されておりますので、是非ご活用頂ければと思います。</p> <p>今後も、遊び場の情報も含め、様々な子育て支援に関する情報につきまして、効果的かつ実用性のある発信に努めてまいります。</p> <p>【こども家庭課】(令和4年9月7日回答)</p>
--	--

## 2. 障害者の通勤補助制度を作ってほしい

提案内容	<p>身体障がい者2級の手帳を持っている車イスユーザーです。</p> <p>病院や買い物などの移動は補助があるけれど、毎日の通勤では移動の補助がなく、大変金銭的に困っています。1日往復(タクシー)3,000円、月6万以上を負担しています。どうして通勤の移動の補助はないのでしょうか。ぜひ通勤移動の補助制度を作ってほしいです。</p>
回答	<p>市では、市内に居住する在宅障がい者の社会参加の促進のため、通勤及び通所に要する交通費(事業所から通勤手当等の支給がある場合は、控除後の額)の2分の1相当額を助成する、有職障がい者交通費助成事業を実施しておりますが、対象の交通機関は、弘南バス、JR、弘南鉄道としております。</p> <p>また、タクシーのご利用については、在宅心身障がい者タクシー等移動支援事業を実施しており、枚数は限られますが、今年度から年間24枚まで利用が可能となっております。</p> <p>現状、ご要望に沿える制度が見つからず、申し訳ございません。当課といたしましては、今後も国の動向等を注視しながら、障がい者が住み慣れた地域で、生活行動範囲を広げ、社会参加が促進されるよう、継続して支援してまいりたいと考えております。</p> <p>【障がい福祉課】(令和5年4月24日回答)</p>

## ◆産業・観光

### 1. 弘前ねぶたの奨励金について

提案内容	<p>弘前ねぶたの奨励金について、弘前ねぶたまつりの合同運行に出陣予定であることが給付の条件だと聞きました。この条件を撤廃すべきだと思います。現時点で合同運行に出陣できないため、町内運行のみ行う団体や、ねぶた自体を続けていくことが困難で、今年は運行を見送る決断をした団体もあります。このような団体も、奨励金を積極的に使って支援すべきなのではないでしょうか。今年は弘前ねぶた300年祭。先代が築き上げてきた伝統を守り、後世へ継承していくためにも、ご検討宜しく申し上げます。</p>
回答	<p>この度は弘前ねぶたまつりについてご意見いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>昨年交付した弘前ねぶた制作・運行奨励金、弘前ねぶた団体活動感染防止対策支援金は、平成30年、31年の合同運行に参加している団体、及び令和3年に合同運行に参加を予定していた団体で、ねぶた等を制作し、地域内運行や展示等を行った団体に交付しました。</p> <p>今年も、過去に合同運行に参加実績のある団体で、地域内運行や展示等を</p>

	<p>行う団体に支援金を交付できないか検討しているところであります。</p> <p>また、奨励金等を交付する要件として、弘前ねぶたまつり運行安全指針に定める安全対策を行っていること、制作上又は、運行上の不適切な行がないこと、活動時に新型コロナウイルスの感染防止対策を講じていること等、様々な条件を満たしている団体へ交付しておりますので、これまで合同運行へ参加していない団体では、ねぶたの安全管理や新型コロナウイルスの感染防止対策等の把握が困難であることから、交付していないものであります。</p> <p>今後も弘前ねぶたまつりが市民や観光客に親しまれ、長く継続していけるよう努めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】(令和4年5月26日回答)</p>
--	--

## 2. 前川建築カードの配布施設が休館日だった場合について

提案内容	<p>弘前さくらまつりの開催中に知り、「前川建築カード配布マップ」に従い、3日かけてなるべく全てを廻ることを目標に歩きました。</p> <p>土曜日に木村産業研究所に向かいましたが、土・日・祝は休みでした。他にも何人か観光の様子の人達が居られましたが、見てみてがっかりした様子で帰って行きました。</p> <p>マップには休みとなっておりますが、遠くから来ている方達のためにまちなか情報センターの様なところに置くこともあっていいのではないかなと思い、ご提案致します。</p>
回答	<p>令和4年度の弘前さくらまつりでは、4月29日(金祝)～5月1日(日)の期間に弘前公園二の丸付近においてシティプロモーションブース及び景観ブースを設置し、「弘前市庁舎」および「木村産業研究所」のカードを特別配布しておりました。</p> <p>その際、木村産業研究所にそれをお知らせする張り紙等はしておりませんでした。ご提案のような取り組みをしていたにもかかわらず、周知不足によって配布できなかったことは、誠に申し訳なく感じております。</p> <p>今後このような特別配布を行う際は、張り紙等で誘導し、カードを受け取っていただける仕組みとしてまいります。そしてカードを受け取っていただいた方が、今度は日をあらためて、施設の見学に来ていただければ、幸いと存じます。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】(令和4年5月18日回答)</p>

## 3. ねぶた300年祭展示のライティングについて

提案内容	<p>300年祭展示で、プロジェクター投影スクリーンの上部のライトが画像を不鮮明にしているので、消灯した方がいいと思います。</p>
回答	<p>ご意見いただきました方法で、スクリーン上部のライトを消灯し対応したところ、画面が見やすくなりました。今後も弘前ねぶたまつりが市民や観光客に親しまれ、長く継続していけるよう努めてまいります。</p> <p>この度は弘前ねぶた300年祭パネル展についてご意見いただきまして、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】(令和4年10月27日回答)</p>

## ◆安全・生活環境

### 1. お出かけシニアパスについて

提案内容	お出かけシニアパスは申し込んだ人全員が購入できるようにしてもいいと思います。
回答	お出かけシニアパスについては、以前より、抽選から外れた方や申込を忘れた方から希望者全員を対象としてほしいとの意見をいただいていることから、弘南バスと協議し、令和5年度から、令和4年度の利用希望者約600名を超える800名まで定員を拡大することにしました。 これにより、希望者全員が利用できる見込ではありますが、今後も、他自治体の事例等を参考にしながら、より多くの方が利用できる仕組みについてさらに研究してまいります。 【地域交通課】(令和5年3月31日回答)

## ◆都市基盤

### 1. 斎場の施設について

提案内容	火葬場を利用した際、畳の待合室ではなく入口付近の椅子に座って待つ人が多いと思います。待合スペースをすべて椅子にしたら、使い勝手が良くなるのではないのでしょうか。 また、火葬炉の前で最期のお別れをする時、棺が高くてお顔が見えないので、踏み台を用意くださると助かります。
回答	弘前市斎場では、入口付近のロビーや待合室付近に椅子席を設置しており、参列者の方々にご利用いただいております。小上がりのある待合室につきましては、現代の生活様式の変化を踏まえ、より快適にお過ごしいただけるよう、改修する際の参考にさせていただきます。 また、踏み台についてですが、弘前市斎場ではご用意しておりますので、次回お越しの際は斎場看守または葬儀担当者様にお声がけくださいますようお願いいたします。 【環境課(斎場)】(令和4年9月6日回答)

### 2. 雪対策窓口について

提案内容	雪対策の対応先が多岐にわたるため、市民サービスとして相談窓口を一本化し、相談内容に応じる対応先の電話番号を案内するか、相談者の連絡先を確認後、担当課職員が相談市民の連絡先に連絡し、相談内容を確認し、対応することにはいいのではないのでしょうか。 ラジオ広報を聴いていて、対応先があまりにも多いと思いました。
回答	雪対策以外にも市民の皆様からのお問合せへの対応先につきましては、市役所の代表番号(Tel35-1111)にかけていただきますと、ご相談の内容に応じて各担当課に電話を取り次ぐ体制となっております。 また、各部署に直接いただいたお問合せで担当が異なる部署であった場合



	<p>につきましても、ご相談内容に応じて担当課にご案内するか、もしくはその場で対応できない場合でも、担当課の職員が連絡を差し上げることとしております。</p> <p>ラジオ広報では、除雪に関するお問い合わせ先だけでも市道路維持課も含め5箇所あり、ほかにも暴風雪に関しての罹災証明書の発行や屋根雪下ろしの際の命綱などの貸出し、公園や緑地への雪寄せの活用、消流雪溝・流雪溝、空き家の雪に関係など、お問い合わせ先が多く、お聞きになられた皆様には分かりにくかったかとも思います。</p> <p>今後は市民の皆様にはわかりやすくお伝えできるよう、検討してまいりたいと考えております。</p> <p style="text-align: right;">【道路維持課】(令和5年2月15日回答)</p>
--	---

◆その他

1. 納入通知書等の日付の表記方法について

<p>提案内容</p>	<p>納入通知書等の日付について、和暦に西暦を併記してほしい。</p>
<p>回答</p>	<p>市では、国や県の取扱いにならない、文書等に記載する年の表記には原則として元号を使うこととしておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、計画書、刊行物、パンフレット、チラシなどは、西暦表記(元号との併記も含む)も可能とし、わかりやすい表記を心がけております。</p> <p style="text-align: right;">【法務文書課】(令和4年4月21日回答)</p>